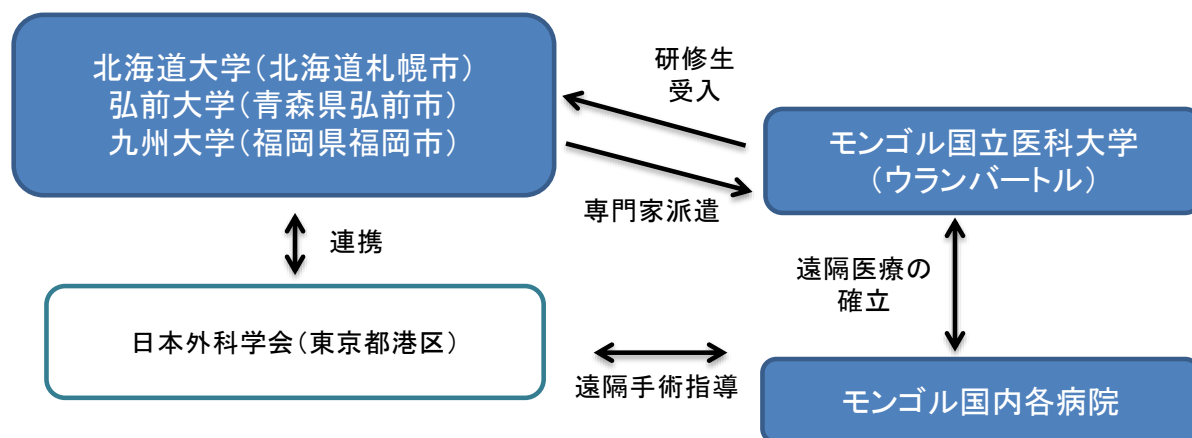


モンゴルと日本間での遠隔手術指導の確立 3年計画の2年目

1. 案件目的；モンゴルにおける内視鏡医及び消化器外科医の育成と遠隔教育体制の構築による医療水準向上
2. 案件の概要；日本の内視鏡・鏡視下手術および遠隔手術指導技術を活用し、日本外科学会と国内大学の専門家が中心となって、モンゴル国立医科大学外科学教室を中核とする研修・技術移転体制を構築し、日本招聘研修と現地実習を組み合わせることで、若手外科医・内視鏡医の育成と自立的な遠隔教育基盤の確立を目指す。
3. 案件の成果、着地点；研修前後の評価や症例データにより、内視鏡・鏡視下手術の理解度向上や手術成績の改善を定量的に検証しつつ、日本—モンゴル間および国内で遠隔手術指導を継続可能な体制を確立する。これにより診療水準の向上と地域間医療格差の是正を図り、事業終了時には鏡視下手術の普及拡大を実現する。



<研修スケジュール予定>

8月 専門家派遣（8名）

- ・手術等の実技研修
- ・日本の遠隔手術の実情の研修

9月～10月 研修受け入れ（8名）

- ・手術等の実技研修
- ・日本の遠隔手術指導の実情の研修

2月 on-line研修（4名）